品川支部

令和六年1月1日発行
〒 141-0022
品川区東五反田1-8-5
℡　3442-7075

1月

天理教品川支部（豊英分教会内）　発行責任者　栗原薫　編集　支部編集部

明けましておめでとう御座います

おせち完全復活のおぢばへ！！

おかわり自由、飯台の上にはあふれる焼いたもち・つゆ・みずな

四日は4トンのもちの鏡開きです

二千人を超す餅焼き風景

立教百八十七年

☆支部行事のお知らせ

・支部例会一月三十日
本荏大教会にて十一時から
（二頁参照）

・新年の幹事会は初顔合わせ
会場は後日連絡

・みんなでひのきしん

昨年、百四十年祭三年千日の東京教区の活動方針が入江教区長から教区のスローガンとして打ち出され、品川支部では従来の在宅ひのきしんと神名流し後の清掃を拡大して参加することにことしもよろしくご参加の程お願い致します

大井在宅介護センター
今月は二十九日がスタートになります
尚、神名流しは二月一日からです
それぞれお問い合わせは婦人会支部主任
水豊田奥様、布教部三ツ木分教会長へ

☆教務支庁からのお知らせ

・本部のおせち開催

本部では制限無しののおせちを正月五日から七日まで開催されます
団体は事前登録をして頂きますが一般は当日で参加出来ます

・立教百八十七年品川支部
例会、その他の予定

一月三十日（火）初例会
本荏大教会
二月二十八日（水）例会
鶴平分教会
三月三十日（土）例会
三ツ木分教会
四月は全教一斉ひのきしんデーです）
＊六月一日（土）
ようぼく一斉活動日　本荏大教会
六月三十日（日）例会
本品分教会
七月二十一日（日）例会
南泰分教会
八月三十日（金）例会
水豊田分教会
九月三十日（月）例会
本大崎分教会
十月三十日（水）例会
日徳實分教会
＊11月4日（月）振り替え休日
ようぼく一斉活動日　日本橋大教会
十一月三十日（土）例会
都南分教会
十二月二十一日（土）納例会
日本橋大教会

時報手配り一月予定

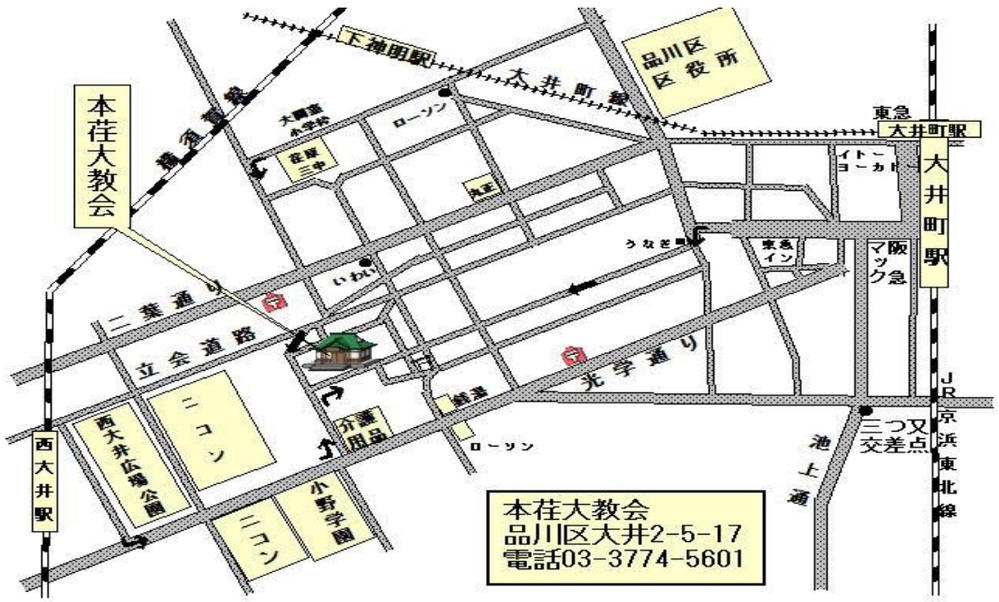
拠点教会	3日号	17日号 10日号と合併	24日号	31日号
日本橋	直　送	手配り	手配り	直　送
本　荏	直　送	直　送	直　送	直　送
都　南	直　送	手配り	手配り	直　送
三ツ木	直　送	直　送	直　送	直　送
水豊田	直　送	手配り	手配り	直　送

品川支部初例会

令和六年1月30日（火）
11時開始
場所　本荏大教会

（品川区大井2丁目５-１７）

内容　おつとめ よろづよ八首 １下り目
東京教区、支部連絡事項
当該本荏大教会長 挨拶
昼食を用意頂いてます
＊各教会の方のほかどなたでも（白足袋ハッピ着用）



辰年の今年は

豊英分教会

明けまして
おめでとう御座います

百四十年祭三年千日もあっという間に一年を過ぎ皆様には充実した日々をお過ごしのことと拝察申しあげます　今年も品川支部をよろしくお願い致します

さて、正月号ですので好例で干支に因んだお話をさせて頂きます

今年は甲辰（きのえ たつ）の年と言うことで、「甲」は十干では、いの一番目にあたり陽の木の気をまとっています

きのえ「木の兄」とも書きどっしりとした大地にしっかりと根を張り、天に向かって真っ直ぐに伸びていく大木がイメージされます

ここから甲の方は、真っ直ぐな性質で真面目、一本気明るく活発でときとして頑固になりがちと言われます。

又、甲の字の形から、春を迎えまだ種子が周りに守られながらも発芽目前と言ったところです。

辰は十二支では五番目で唯一架空動物の龍（竜）を意味し　水や海の神として祀られてきました

龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり大河ドラマでもテーマになりましたが「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました

この二つの組み合わせである甲辰には、「成功の芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表していると言えそうです

では、ここからは方角でお道の教えから今年を見てみましょう

辰年の方角は東北を南側に超した位置に当たります

十柱の神様では「くにさづち命」様（皮・万つなぎの守護）を少し過ぎ、「をもたり命」様（ぬくみ・火の守護）に近づくところになります。

このような位置と言う事を考えますと、冬から抜け出し、芽生え、一途な成長の時から、今年は周りとの係わりに目を向け感謝の気持ちで協調し、仕上げまでにつないで行くという時期に当たると悟らさせて頂く事が出来ると思うのであります。

何かコロナ禍の制限が解除され、動き始めた百四十年祭三年千日の一年目を過ごし、つなぎの二年目に相応しい年回りと言う気がします

ここで今年を良い年にするにはと言う事ですが、万つなぎ一切の守護を頂ける「くにさづち命」様により近く、ぬくみを守護下さる「をもたり命」様に近づいていくと言う位置づけの今年で　どのような心づかい即ち、どのような胸のほこりを払うことが肝心と思うのであります

先人の悟りからそれぞれの命様に置きましては、ほこりで言えば「うらみ」又「ほしい」が充てられる事が多いようです

そこでまず今年は人・社会・財産へのつなぎの守護をしっかり頂けるよう、うらみのこころを払い自分に起こる都合の悪い身上事上を他人のせいにしないと言う事

次にぬくもりの守護を頂けますよう、自分がしなければならないことを人にやって欲しいと言うような思いを払うことを胸に置き、一年を過ごせれば温もりのある人とのつながりで楽しい陽気ぐらしへとご守護いただけるのだと思う次第であります

加えて、足りない部分を補填して下さるのが、対になる月よみの命様、くにとこたち命様のご守護ですので

こちらも意識に入れていきたいと思います

是非、この新たな年が貴方にとってより一層、温かくすばらしい年になりますよう願っております

栗原　薫